

令和7年度北海道自給飼料生産優良事例・研究成果発表会の事前周知

1 開催趣旨

北海道の酪農・畜産は、広大な自給飼料基盤を背景に発展してきましたが、草地更新の遅れや草地への雑草の侵入によって牧草収穫量が減少するなどの課題が顕在化しており、さらには、円安等により輸入飼料価格が高止まりとなり、酪農・畜産経営を大きく圧迫しているところです。

こうした中、本道において安定した農業経営の確立を図るためには、関係機関・団体等が連携した取組を進め、これまで以上に自給飼料基盤に立脚した経営を推進することが重要であることから、本年度において「北海道自給飼料生産優良事例・研究成果発表会」を次のとおり開催します。

2 主 催

北海道自給飼料改善協議会

(構成団体)

北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部

北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会

公益財団法人北海道農業公社、雪印種苗株式会社

一般社団法人北海道酪農畜産協会

3 内 容

(1) 話題提供

「自給飼料を取り巻く情勢と令和8年度予算の概要」 (仮題)

農林水産省畜産局飼料課 [講演者は未定]

(2) 優良事例発表

「地域の酪農家全員が結束 ～できることは徹底して確実に！

地域の特徴を生かして～」 (仮題)

農事組合法人「瑞穂（みずほ）」 (北見市留辺蘂町瑞穂)

理事 井上 光夫氏

(3) 話題提供

「自給飼料生産技術の改善 ～重点地区における5年間の取組～」 (仮題)

北海道釧路農業改良普及センター釧路東部支所 (釧路管内浜中町)

未 定

(4) 研究成果発表

「オーチャードグラス及びフェストリウム新品種の特性と利用法」 (仮題)

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 (農研機構)

北海道農業研究センター 主任研究員 眞田 康治氏

(5) 全体討議

[討議テーマは未定]

4 参集範囲

生産者、農業協同組合、市町村、農業改良普及センター、関係機関・団体等

5 その他

参加申込については、令和7年10月中に、あらためて、JAなど関係機関・団体へ、（一社）北海道酪農畜産協会のホームページへの掲載及び参加申込書の郵送にてご案内申し上げます。

6 照会先

北海道自給飼料改善協議会事務局

一般社団法人北海道酪農畜産協会 事業推進部事業推進第2課（土屋、柴谷）

Tel 011-209-8555